



## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月12日

上場会社名 **株式会社 第三銀行** 上場取引所 東証一部・名証一部  
 コード番号 8529 U R L <http://www.daisanbank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 谷川 憲三  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 岩間 弘 TEL (0598)23 - 1111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期 第3四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	38,385	2.0	2,942	49.9	1,465	54.5
19年3月期第3四半期	39,177	7.1	5,878	30.5	3,218	54.9
19年3月期	51,825		6,504		3,647	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	7	97	-	
19年3月期第3四半期	17	50	-	
19年3月期	19	83	-	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率 (注)	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第3四半期	1,741,073	77,885	4.4	425	18
19年3月期第3四半期	1,697,157	81,748	4.7	434	17
19年3月期	1,708,774	85,236	4.9	453	53

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第3四半期末
	円 銭
19年3月期第3四半期	
20年3月期第3四半期	

## 3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

平成19年11月16日に公表しました平成20年3月期通期の業績予想を以下のとおり見直しております。詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	50,900	1.8	5,600	13.9	3,010	17.5	16	48

(参考)平成20年3月期の単体業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	42,400	1.6	5,500	13.6	3,000	17.2	16	41

## 4. その他

- (1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2)会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3)最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想、単体業績予想については、平成19年11月16日に公表しました予想を変更しております。上記の予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報を参照してください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の連結経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息や有価証券の利息配当金収入は前年同四半期比増加したものの、主として有価証券売却益の減少がこれらを上回ったことから、前年同四半期比7億92百万円減少し383億85百万円となりました。

一方、経常費用は、外国為替売買損や金融派生商品費用等のヘッジコストの減少によりその他業務費用が減少し、貸倒償却引当費用の減少を主因としてその他経常費用も減少したものの、市場金利の上昇を背景に預金コストの増加がこれらを上回ったことなどによって、前年同四半期比21億44百万円増加しました。

その結果、経常利益は、前年同四半期比29億36百万円減少し29億42百万円となりました。また、四半期純利益は、前年同四半期比17億53百万円減少し14億65百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における連結財政状態につきましては、総資産は1兆7,410億円となり、前年同四半期に比べ439億円増加しました。また、純資産は778億円となり、その他有価証券評価差額金の減少などから、前年同四半期に比べ38億円減少いたしました。

主要な勘定残高につきましては、預金は、個人預金を中心に前年同四半期に比べ467億円増加し、当第3四半期末残高は、1兆5,950億円となりました。貸出金につきましては、住宅ローン、一般事業貸出とも増加したことから、前年同四半期に比べ291億円増加し、当第3四半期末残高は、1兆624億円となりました。

有価証券は、前年同四半期に比べ155億円増加し、当第3四半期末残高は、5,310億円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の連結業績予想につきましては、金融資本市場の変化の資金運用収益、役務収益等への影響に加え、信用コストが当初予想をやや上回ることなどから、平成19年11月16日に公表いたしました通期の業績予想を、経常利益56億円(当初予想比15億円減少)、当期純利益30億10百万円(当初予想比10億円減少)に変更いたしました。また、銀行単体の業績予想につきましても、経常利益は55億円(当初予想比15億円減少)、当期純利益は30億円(当初予想比10億円減少)となる見通しです。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当ありません。

#### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

当行は、中間(連結)財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。

なお、四半期財務・業績に関する計数は、監査法人による監査を受けておりません。

[簡便な手続きの内容]

##### (貸倒引当金の計上基準)

当四半期末の貸倒引当金は、平成19年12月末の自己査定結果による債権残高を基準としておりますが、正常先、要注意先にかかる一般貸倒引当金及び破綻懸念先にかかる個別貸倒引当金については、平成19年9月期において適用した貸倒実績率に基づき計上しております。

##### (法人税等の計上基準)

当四半期の税金費用については、簡便的に法定実効税率をベースとした年間予測税率を基に算出しており、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」の合計相当額を「税金費用」として四半期連結損益計算書に表示しております。

#### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当ありません。

5. (要約)四半期連結財務諸表  
 (1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末(A)	当四半期末(B)	増 減		(参考)前期末
	(平成19年3月期 第3四半期末)	(平成20年3月期 第3四半期末)	(B) - (A)		(平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
現金預け金	36,538	43,231	6,693	18.3	73,665
コールローン及び買入手形	40,000	38,000	2,000	5.0	1,180
商品有価証券	1,823	1,595	228	12.5	1,865
金銭の信託	4,253	3,394	859	20.2	4,140
有価証券	515,499	531,094	15,595	3.0	521,247
貸出金	1,033,328	1,062,471	29,143	2.8	1,047,175
外国為替	1,616	3,729	2,113	130.8	2,516
その他資産	28,973	28,440	533	1.8	31,431
有形固定資産	27,574	27,470	104	0.4	27,480
無形固定資産	1,449	1,216	233	16.1	1,427
繰延税金資産	8,715	11,414	2,699	31.0	7,573
支払承諾見返	16,997	6,444	10,553	62.1	7,429
貸倒引当金	19,614	17,429	2,185	11.1	18,361
資産の部合計	1,697,157	1,741,073	43,916	2.6	1,708,774
(負債の部)					
預用金	1,548,308	1,595,083	46,775	3.0	1,550,131
借入金	16,694	18,281	1,587	9.5	19,814
外国為替	6	6	-	-	7
社債	10,000	17,000	7,000	70.0	17,000
その他負債	13,037	15,477	2,440	18.7	18,201
賞与引当金	540	532	8	1.5	1,045
役員賞与引当金	-	-	-	-	33
退職給付引当金	5,765	5,991	226	3.9	5,817
役員退職慰労引当金	-	283	283	-	-
睡眠預金払戻損失引当金	-	98	98	-	-
再評価に係る繰延税金負債	4,058	3,988	70	1.7	4,058
支払承諾	16,997	6,444	10,553	62.1	7,429
負債の部合計	1,615,408	1,663,187	47,779	3.0	1,623,538
(純資産の部)					
資本金	22,461	22,461	-	-	22,461
資本剰余金	17,761	17,761	-	-	17,761
利益剰余金	28,613	29,695	1,082	3.8	29,042
自己株式	210	473	263	125.2	216
株主資本合計	68,624	69,444	820	1.2	69,048
その他有価証券評価差額金	8,366	3,570	4,796	57.3	11,408
繰延ヘッジ損益	668	335	333	49.9	579
土地再評価差額金	3,507	3,401	106	3.0	3,507
評価・換算差額等合計	11,206	6,635	4,571	40.8	14,336
少数株主持分	1,916	1,805	111	5.8	1,850
純資産の部合計	81,748	77,885	3,863	4.7	85,236
負債及び純資産の部合計	1,697,157	1,741,073	43,916	2.6	1,708,774

(注)記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期(A)	当四半期(B)	増 減		(参考)前期
	(平成19年3月期 第3四半期)	(平成20年3月期 第3四半期)	(B) - (A)		(平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
経 常 収 益	39,177	38,385	792	2.0	51,825
資 金 運 用 収 益	25,311	27,025	1,714	6.8	33,872
(うち貸出金利息)	( 17,323 )	( 18,501 )	( 1,178 )	( 6.8 )	( 23,170 )
(うち有価証券利息配当金)	( 7,913 )	( 8,357 )	( 444 )	( 5.6 )	( 10,568 )
役 務 取 引 等 収 益	3,739	3,681	58	1.6	4,994
そ の 他 業 務 収 益	880	331	549	62.4	1,012
そ の 他 経 常 収 益	9,246	7,347	1,899	20.5	11,946
経 常 費 用	33,299	35,443	2,144	6.4	45,320
資 金 調 達 費 用	1,646	4,405	2,759	167.6	2,635
(うち預金利息)	( 1,058 )	( 3,673 )	( 2,615 )	( 247.2 )	( 1,835 )
役 務 取 引 等 費 用	1,388	1,540	152	11.0	2,030
そ の 他 業 務 費 用	2,546	1,726	820	32.2	3,164
営 業 経 費	17,373	17,756	383	2.2	23,216
そ の 他 経 常 費 用	10,343	10,015	328	3.2	14,273
経 常 利 益	5,878	2,942	2,936	49.9	6,504
特 別 利 益	9	9	-	-	12
特 別 損 失	64	672	608	950.0	89
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,824	2,279	3,545	60.9	6,428
法人税、住民税及び事業税	-	-	-	-	209
法人税等調整額	-	-	-	-	2,517
税 金 費 用	2,482	835	1,647	66.4	-
少 数 株 主 利 益 (は少数株主損失)	123	22	145	117.9	54
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	3,218	1,465	1,753	54.5	3,647

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前年同四半期(平成19年3月期 第3四半期)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	22,461	17,761	26,217	196	66,243
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			920		920
役員賞与			22		22
四半期純利益			3,218		3,218
自己株式の取得				14	14
土地再評価差額金の取崩			120		120
株主資本以外の項目の当 四半期中の変動額(純額)					
当四半期中の変動額合計	-	-	2,395	14	2,381
平成18年12月31日残高	22,461	17,761	28,613	210	68,624

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	11,669	-	3,628	15,297	1,851	83,392
当四半期中の変動額						
剰余金の配当						920
役員賞与						22
四半期純利益						3,218
自己株式の取得						14
土地再評価差額金の取崩						120
株主資本以外の項目の当 四半期中の変動額(純額)	3,302	668	120	4,091	65	4,025
当四半期中の変動額合計	3,302	668	120	4,091	65	1,643
平成18年12月31日残高	8,366	668	3,507	11,206	1,916	81,748

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

当四半期(平成20年3月期 第3四半期)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	22,461	17,761	29,042	216	69,048
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			919		919
四半期純利益			1,465		1,465
自己株式の取得				257	257
土地再評価差額金の取崩			106		106
株主資本以外の項目の当 四半期中の変動額(純額)					
当四半期中の変動額合計	-	-	652	257	395
平成19年12月31日残高	22,461	17,761	29,695	473	69,444

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	11,408	579	3,507	14,336	1,850	85,236
当四半期中の変動額						
剰余金の配当						919
四半期純利益						1,465
自己株式の取得						257
土地再評価差額金の取崩						106
株主資本以外の項目の当 四半期中の変動額(純額)	7,837	243	106	7,701	44	7,746
当四半期中の変動額合計	7,837	243	106	7,701	44	7,350
平成19年12月31日残高	3,570	335	3,401	6,635	1,805	77,885

(注)記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

(参考)前期(平成19年3月期)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	22,461	17,761	26,217	196	66,243
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			920		920
役員賞与			22		22
当期純利益			3,647		3,647
自己株式の取得				19	19
土地再評価差額金の取崩			120		120
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	-	-	2,825	19	2,805
平成19年3月31日残高	22,461	17,761	29,042	216	69,048

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	11,669	-	3,628	15,297	1,851	83,392
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当						920
役員賞与						22
当期純利益						3,647
自己株式の取得						19
土地再評価差額金の取崩						120
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	261	579	120	960	0	961
連結会計年度中の変動額合計	261	579	120	960	0	1,844
平成19年3月31日残高	11,408	579	3,507	14,336	1,850	85,236

(注)記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。



(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期(平成19年3月期 第3四半期)

(単位:百万円)

	銀行業	リース業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
経常収益	32,814	6,460	1,493	40,768	(1,591)	39,177
経常費用	27,178	6,404	1,300	34,883	(1,584)	33,299
経常利益	5,635	56	193	5,885	(6)	5,878

当四半期(平成20年3月期 第3四半期)

(単位:百万円)

	銀行業	リース業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
経常収益	31,853	6,456	1,486	39,796	(1,410)	38,385
経常費用	28,997	6,480	1,366	36,843	(1,399)	35,443
経常利益	2,856	23	120	2,953	(10)	2,942

(参考) 前期(平成19年3月期)

(単位:百万円)

	銀行業	リース業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
経常収益	43,109	8,628	1,965	53,703	(1,878)	51,825
経常費用	36,741	8,558	1,891	47,192	(1,871)	45,320
経常利益	6,367	69	74	6,511	(7)	6,504

(注)1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 「その他の事業」の主なものはクレジットカード業務、現金整理委託業務等であります。

[所在地別セグメント情報]

全セグメントの所在地は国内のため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[国際業務経常収益]

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

【平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況の参考資料】

1. 平成20年3月期 第3四半期の損益状況(単体)

第3四半期までの損益状況については、本業の利益を示すコア業務純益は、預金コストの増加等を主因として前年同四半期比414百万円減少しました。一方、不良債権処理費用は、資産の健全化の進展に伴い減少しましたが、有価証券売却益の減少により、有価証券関係損益が前年同四半期比2,668百万円減少しました。

その結果、経常利益は前年同四半期比2,779百万円減少し2,856百万円、四半期純利益は1,753百万円減少し、1,443百万円となりました。

通期の業績予想につきましては、市場環境の変化の影響などから経常利益は55億円(当初予想比15億円減少)、当期純利益は30億円(当初予想比10億円減少)となる見通しです。

(単位:百万円)

	平成20年3月期 第3四半期 実績 (9カ月間)		平成19年3月期 第3四半期 実績 (9カ月間)	平成20年3月期 通期 予想 (12カ月間)
	前年同四半期 実績比			
業務粗利益	22,694	922	23,616	
うち資金利益	22,652	1,010	23,662	
うち役務取引等利益	1,436	183	1,619	
うちその他業務利益	1,394	272	1,666	
経費(除く臨時処理分)	16,734	47	16,687	
一般貸倒引当金繰入	213	634	421	
業務純益	5,746	1,603	7,349	
コア業務純益	6,250	414	6,664	
臨時損益	2,890	1,176	1,714	
うち不良債権処理額	2,480	1,317	3,797	
うち株式等損益(3勘定戻)	800	2,114	2,914	
経常利益	2,856	2,779	5,635	5,500
特別利益	2	1	3	
特別損失	583	524	59	
税引前四半期(当期)純利益	2,274	3,305	5,579	
税金費用	830	1,552	2,382	
四半期(当期)純利益	1,443	1,753	3,196	3,000

(注)1. 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 決算計数の一部は、決算処理について一部「簡便な手続き」を採用して算出しております。

(「簡便な手続き」とは、P3【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 を参照下さい。)

## 2. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体)

	(単位:億円)		(参考)(単位:億円)
	平成19年12月末	平成18年12月末	平成19年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	77	100	77
危険債権	165	206	188
要管理債権	105	154	92
合計	348	461	358
総与信に占める割合	3.19%	4.34%	3.28%

(注) 上記の平成19年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しており、集計方法については、平成19年12月末を仮基準日として行った自己査定における債務者区分(\*)残高を前提としております。

なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」と認められる金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

\* 債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権(実質破綻先、破綻先の債権)

危険債権(破綻懸念先の債権)

要管理債権(要注意先のうち、元金又は利息の支払が3カ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

## 3. 自己資本比率(国内基準)

	(参考)	
	平成20年3月末(予想値)	平成19年9月末(実績)
連結自己資本比率	10.4%程度	10.59%
連結Tier1比率	7.2%程度	7.36%

  

	(参考)	
	平成20年3月末(予想値)	平成19年9月末(実績)
単体自己資本比率	10.3%程度	10.57%
単体Tier1比率	7.2%程度	7.30%

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

#### 4. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

評価差額

	平成19年12月末				平成18年12月末				平成19年9月末			
	時価	評価差額		うち損	時価	評価差額		うち損	時価	評価差額		うち損
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	5,171	51	147	96	5,027	138	208	69	5,186	93	171	77
株式	489	54	93	38	559	148	161	13	532	104	127	22
債券	3,322	19	32	13	3,094	23	10	34	3,259	4	15	20
その他	1,359	22	21	44	1,373	14	36	22	1,394	6	28	34

（注）1. 「評価差額」および「含み損益」は、期末時点の取得原価（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券及び子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

#### 5. デリバティブ取引（単体）

（1）金利関連取引

区分	種類	平成19年12月末			平成18年12月末			平成19年9月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	金利先渡契約	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	金利スワップ	200	9	9	200	5	5	200	6	6
	金利オプション	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

（2）通貨関連取引

区分	種類	平成19年12月末			平成18年12月末			平成19年9月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	為替予約	228	1	1	278	8	8	244	2	2
	通貨オプション	14	0	0	17	0	0	17	0	0

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

（3）株式関連取引

該当ありません。

（4）債券関連取引

区分	平成19年12月末			平成18年12月末			平成19年9月末		
	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
店頭	-	-	-	20	0	0	-	-	-

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

（5）商品関連取引、クレジットデリバティブ取引

該当ありません。

#### 6. 預金、貸出金の残高（単体）

	平成19年12月末		平成18年12月末		平成19年9月末	
	金額	うち個人預金	金額	うち個人預金	金額	うち個人預金
預金（末残）	15,989	12,678	15,514	12,098	15,801	12,330
貸出金（末残）	10,701	-	10,402	-	10,700	-

以上